



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第96号(2012年1月31日)



【ドバイの債務状況の進展】

ドバイ・ショックのあと、貿易、観光産業が復調したことに加え、「アラブの春」のさなかでドバイにおいては騒乱が起きなかったこともあり、ドバイ経済は復活しつつあります。しかし依然として政府系企業の債務の負担は重く、IMFによれば今年だけでも150億ドルにも及ぶ債務の返済が発生するようです。

政府系企業の一つであるDubai Holding Commercial Operations Groupは2月1日に償還となる債券について、自身のキャッシュフローを使って返済することを発表しました。しかし、この後も大型の債務の返済が続く予定であり、金融市場ではこれらの債務の返済がドバイ政府にとっての真のテストになると観察しています。

ドバイ政府はいわゆるドバイ・ショックで危うくデフォルトになりかけてから、これまでに2回政府債を発行しています。同政府は、金融市場における支払い能力についての信認を損なうようなことは望まず、政府系企業には債務を支払うように勧めるだろうとされています。

現状のところ、ドバイ政府による支援も見込まれていることから、政府系企業の債券についても、政府の支援が見込まれた価格帯で取引されています。

ただし、政府系企業が仮に借り換えのために新たに債券を起債する場合、欧州債務危機によって銀行がリスクを減らしていることから、従来よりも高いクーポンを付与することが必要になると考えられます。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ドバイの太陽光発電プロジェクト】

ドバイ政府は温室効果ガスを減らし、化石燃料への依存からエネルギー源を分散させるべく、新たに120億UAEディルハム相当の太陽光発電プロジェクトを始めることを発表しました。2013年の終わりには発電が開始される見込みです。

ドバイのエネルギー最高評議会のTayer副会長によれば、建設に必要な費用は同評議会から支出され、ドバイの電力と水の供給を管理するDubai Electricity and Water Authorityの監視下で運営されます。

Tayer副会長は昨年、2030年までに使用する電力の5%を再生エネルギーでまかなうとする計画を発表しています。

【ニュース・コープがドバイのメディア企業に出資】

世界的なメディア企業大手のニュース・コープがドバイを本拠地としたメディア企業のMOBYに出資することになりました。

ニュース・コープとMOBYはペルシャ語のテレビ放送企業のBroadcast Middle Eastにそれぞれ出資していましたが、今回ニュース・コープによるBroadcast Middle Eastへの出資分をMOBYが買い取る代わりにMOBYの株式をニュース・コープが引き受ける形で合意ができました。

ニュース・コープは既に中東においてはテレビと広告事業を展開するRotanaグループにも出資しており、今回MOBYにも出資することにより、中東での地位を固めていく狙いとされています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ドバイの不動産に新たな重石】

アラブ首長国連邦において相続関連法が必ずしも十分に整備されておらず、外国人投資家にとって、相続発生時に、イスラム教徒ではない場合にもイスラム法が適用されるのかどうか曖昧であることから、ドバイの不動産市場にとって新たな重石となる可能性が指摘されています。

イスラム法ではなく投資家の母国の法律に則って相続されるかもしれませんが、その保証はなく、また、手続きも依然として複雑で時間がかかり、コストもかかるという意見が出ています。

実際にはオフショアの会社を通じた不動産の保有といった形態での投資も行われているようですが、オフショアの会社や信託を通じた投資を制限する動きもあり、より多くの海外投資家の資金を呼び込むためには法律、手続き面での透明度が求められると考えられます。

【アラブ首長国連邦の労働市場は活性化が続く】

アラブ首長国連邦の労働市場は2011年も活発でしたが、2012年も好調さが続くという見通しが出ています。アラブ首長国連邦の人材紹介会社大手のGulf Recruitment Groupの調査によれば、93%の企業が今年の第1四半期に人員数を増やすことを予測しているとのこと。調査対象企業には地元の多国籍企業も現地の有力企業も含まれます。

Gulf Recruitment Groupによれば、消費財、建設、製薬会社は好調と見通される一方で、銀行は厳しくなることが予測されます。同じ金融でも保険会社については多少状況は良いようです。

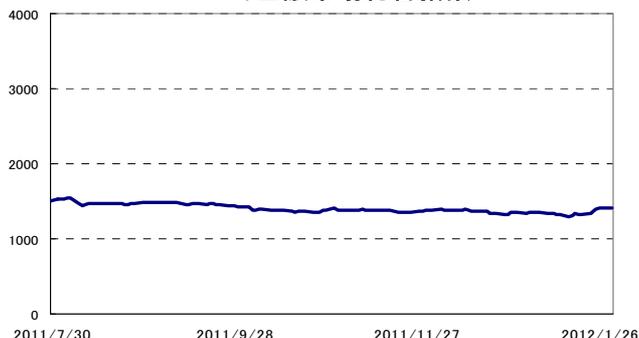


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

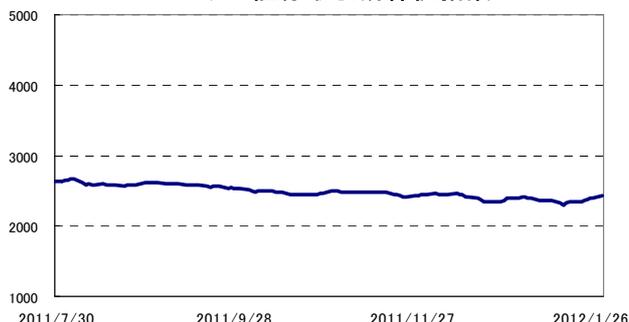


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近6ヶ月)

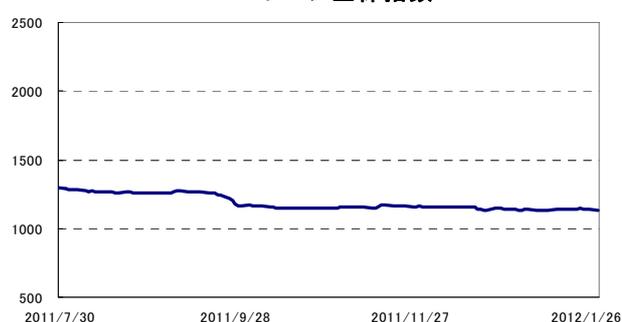
ドバイ金融市場総合指数



アブダビ証券取引所株価指数



バーレーン全株指数



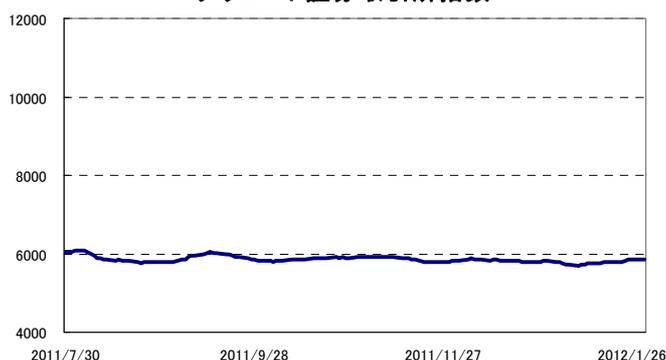
サウジアラビア タダウル全株指数



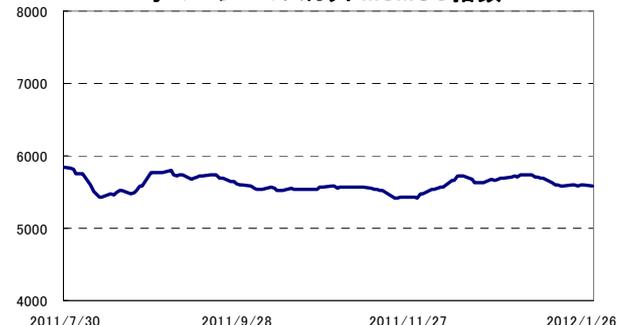
カタール DSM指数



クウェート証券取引所指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。